施工説明書



# TOTO

# 手すり固定金具

EW21117R

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

## 1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

●この説明書では商品を安全に正しく取り付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

| 表　示 | 意　味 |
|---|---|
| ⚠警告 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。 |

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

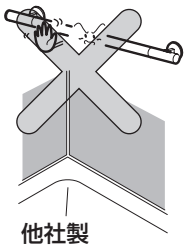
| | |
|---|---|
| | ⃠は、してはいけない「禁止」内容です。<br>左図は、「分解禁止」を示します。 |
| | ❗は、必ず実行していただく「強制」内容です。<br>左図は、「必ず実行」を示します。 |

### ⚠ 警　告

禁止

**TOTOのユニットバス(タイルパネル・HQパネル・化粧鋼板複合パネル・塩ビ鋼板複合パネル)およびシステムバス(タイルパネル・HQパネル・QCパネル・人工大理石パネル・化粧鋼板複合パネル・塩ビ鋼板複合パネル)以外には取り付けない**

他社のユニットバスおよびシステムバスに取り付けると、壁構造・壁厚さの違いにより、取り付けができない場合や、手すりが外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。
TOTOの壁材でもナチュラルクラフトパネル・旧セセーラシリーズに使用のものは、壁の厚さなどの制約により取り付けできません。

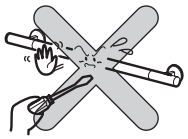



### ⚠ 警　告

分解禁止

**修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造は行わない**

手すりの破損や脱落により、けがをするおそれがあります。



必ず実行

**穴あけ後、鋼板の切り口に必ず防錆剤を塗布する**

防錆剤を塗布しないと、壁が腐食し、手すりが外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。

**壁の穴と座金の間の全周に必ずシーリング剤を塗布する**

シーリング剤を塗布しないと、壁裏へ水が浸入し、手すりが外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。

**取り付け完了後、手すりにガタツキがないことを確認する**

手すりにガタツキがあると、手すりが外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。

## 2 取り付け前に

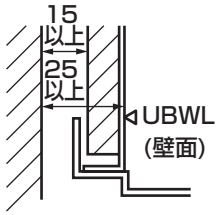
### 取り付け前の注意

●手すりを取り付ける壁がTOTOユニットバスおよびシステムバスであることを確認してください。

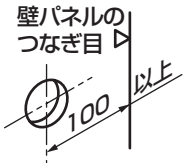
●取り付け可能な手すりはTOTOの下記品番の手すりのみです。他の手すりや他社の手すりは取り付けできません。
YHR600K、YHR600M、YHR800K、YHR800M、YHR86ML、YHR86MR

●常時水に接する場所には取り付けないでください。
変色や変形のおそれがあります。

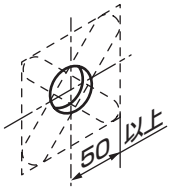
●壁裏に最低15mm(UBWLから25mm)以上のスペースが必要です。




●取付用開口位置は、壁パネルのつなぎ目から100mm以上離してください。




●壁裏の補強材・フレームなどから50mm以上離してください。
※タイル壁には「壁裏センサー」を使用すると確実です。

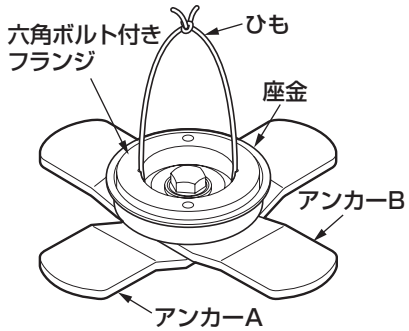


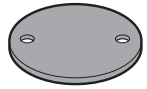

●取付用開口位置の壁裏に給水・給湯配管がないことを確認してください。

●保温パック付きのシステムバスルームに取り付ける場合は、取付穴中心からφ150程度の範囲で発泡スチロールを取り除いてから取り付けてください。

## 3 部品の確認

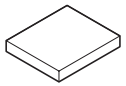
**固定金具**



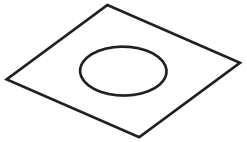



手すり用パッキン×1個

M4ボルト×2個



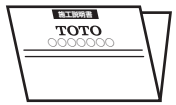
パッキン×1個



マスキングテープ×1個

| | |
|---|---|
| アンカーA(ねじあり穴) | 1個 |
| アンカーB(ねじなし穴) | 1個 |
| 六角ボルト付きフランジ | 1個 |
| 座金 | 1個 |
| ひも | 1本 |

**その他**




施工説明書

## 4 手すりの組み立て

手すりに添付されている施工説明書に従って組み立ててください。



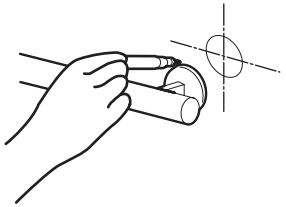
裏面へつづく

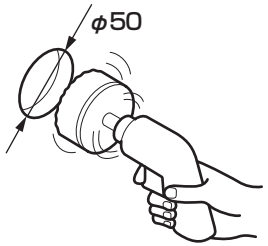
# 5-1 手すりの取り付け

## 1. 穴あけ

手すりを壁面に当て、心出しをしたあと、φ50の穴をあける。

※壁裏スペースが狭い場合は、穴あけ途中でホルソーのセンターのキリを取り外すと、建築物に穴をあけずにすみます。






**注 意**

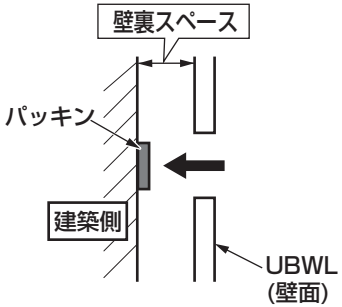
**穴あけ後、鋼板の切り口のバリを取り、防錆剤を塗布してください。**
**バリを取らないと、十分なシールができずに、壁裏に水漏れすることがあります。**

## 2. アンカーの差し込み

①パッキンの紙をはがして、壁の穴から建築側にはり付ける。

**注 意**

- **はり付ける面をきれいにしてからはり付けてください。**
- **壁裏スペースが20mm(UBWLから30mm)以下の場合は、建築との音鳴り防止のため、必ずパッキンをはり付けてください。**

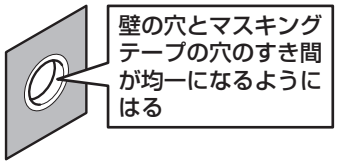



②マスキングテープの紙をはがし、穴に合わせマスキングテープをはる。

※マスキングテープの穴のまわりのみ、のりがついています。

**注 意**

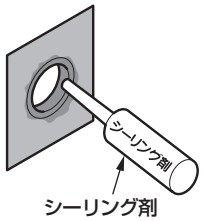
**壁の穴とマスキングテープの穴のすき間が均一になるようにはってください。シーリング剤が塗布されず、壁裏に水漏れすることがあります。**

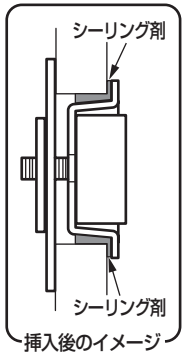



③壁の穴のまわりにシーリング剤を塗布する。

**注 意**

**壁の穴と座金の間の全周に必ずシーリング剤を塗布してください。**

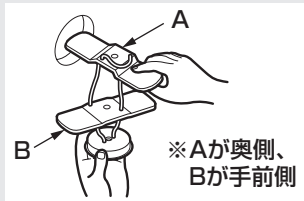


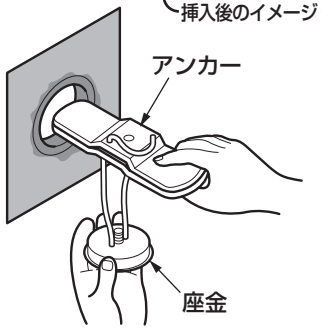




④アンカーを2つ重ねて凸側を上にして壁裏に入れる。

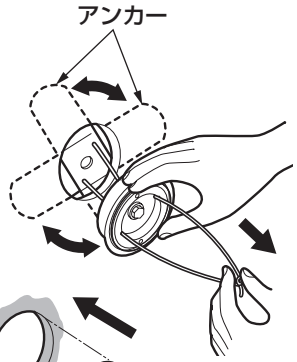
**注 意**

- **アンカーが裏返らないように、ひもを引っ張り気味にして静かに入れてください。**
- **アンカーが2つ重ねて入らないときは、アンカーを1枚ずつ(A→B)凸部を上にしてひもがよじれないように壁裏に入れてください。**

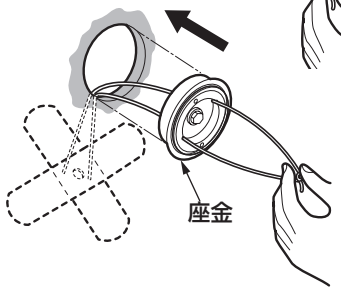



⑤ひもを引いて右図のようにアンカーを展開する。




⑥座金を壁の穴に入れる。



## 5-2

### 3. フランジの取り付け

①ひもを強く引っ張り、座金の穴とアンカーの穴を合わせたあと、ひもを強く引っ張り上げる。

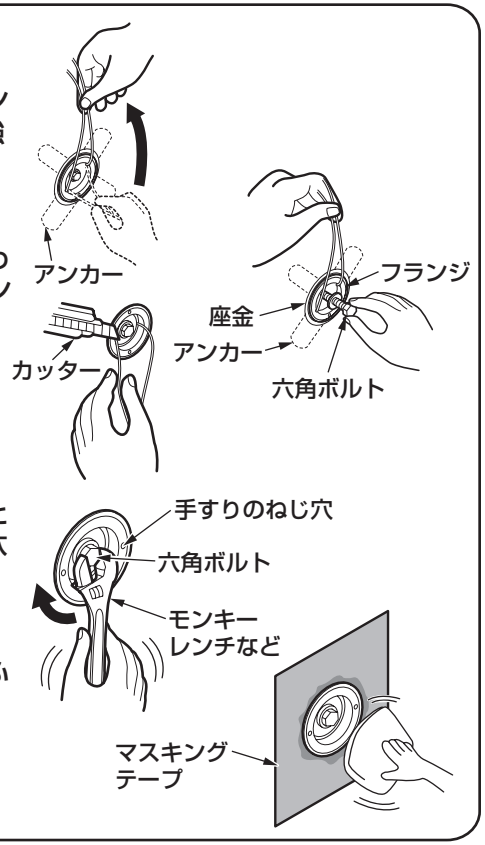
②①の状態のまま、座金のねじ穴に合わせて、六角ボルト付きフランジをアンカーに仮締めする。

③ひもを切断し、引き抜く。

④フランジのねじ穴が手すりのねじ穴と合う位置で、モンキーレンチなどで六角ボルトを本締めする。

⑤座金からはみだしたシーリング剤をふき取る。

⑥マスキングテープをはがす。



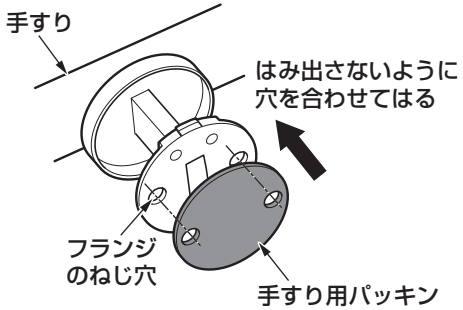

### 4. 手すり用パッキンのはり付け

①手すり用パッキンの紙をはがす。

②手すり用パッキンを手すりのフランジのねじ穴に合うようにはる。

**注 意**

**手すりのフランジから手すり用パッキンがはみ出さないようにはり付けてください。**

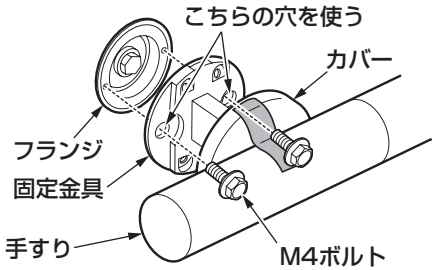



## 5-3

### 5. 手すりの取り付け

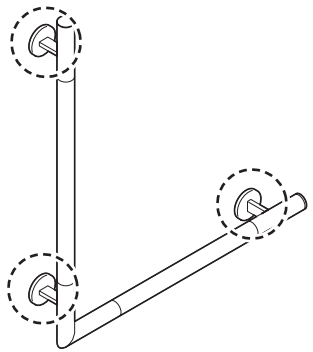
①カバーをずらし、固定金具とフランジをM4ボルトでしっかりと締め付ける。

②カバーを壁面へ押し付ける。




## 6 点検項目

**取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。**



### ガタツキの確認

手すりにガタツキがないか確認してください。

**接続部はしっかり組み立てていますか？**

4「手すりの組み立て」参照

**手すりは壁にしっかり取り付けていますか？**

5「手すりの取り付け」参照

再生紙を使用しています。